



## 多職種での意見交換会を開催しました

### 薬剤師と介護事業所との合同研修会

参加者：70名

薬剤師、介護支援専門員、看護師等

テーマ：正しくお薬を使うために多職種連携でできること

ミニレクチャーでは、アイン薬局 鶴岡七日町店 薬剤師の佐藤正規氏より、薬剤師が行う服薬支援について、当地区の在宅実施状況や服薬支援ロボを用いた介入事例もまじえながら紹介いただきました。

グループワークでは、普段の困りごとや疑問から、多職種連携に関わることまで多くの意見交換がなされました。お互いの分野について理解を深め、正しくお薬を使うために多職種連携でできることのヒントが得られた会となりました。



服薬支援ロボ



実機の展示があり、実際に薬の時間をお知らせしてもらいました

### 医療と介護の連携研修会

参加者：126名

医師、薬剤師、看護師、MSW、リハビリ職、  
介護支援専門員、相談員、介護福祉士など

テーマ：「人生会議：ACPを熱く語る」～あなただったらどうする？～

講師・ファシリテーター：鶴岡地区医師会理事／前庄内保健所所長 蘆野 吉和 氏



#### グループワーク課題

- ① ACPの普及を妨げている理由について挙げてください。
- ② ACPを普及するためにあなたがこれから取り組むことができることについて語ってください。
- ③ あなたが人生の最後に食べたいもの/飲みたいものはなんですか。もし、最後に飲み込みが難しい状況の場合にはどのような工夫をしてもらいたいですか、それともあきらめますか。

講演では、平均寿命や高齢化の推移などの現状を踏まえ、ACPの重要性や効果、自己決定支援の方法などについてご紹介いただきました。その後、グループに分かれ上記の課題についてディスカッションを行いました。アンケートでは「グループワークを通してACPの意義を学ぶことができた」「ACPについて家族と話してみたい」「普及を進めたい」といった声が寄せられ、「幸せな最期のためのACP」を支援する専門職の皆様がさらに理解を深めるための一助となる会であったのではないのでしょうか。

『病気や障害があっても、住み慣れた家や地域で暮らし続けたい。』

そんな思いを支えるのが訪問看護です。

医師の指示のもと看護師・リハビリなどの専門職が生活の場を訪問し、その方の体調や生活に合わせて看護やリハビリを行い、療養生活を支えます。

主な内容

健康状態の  
観察

療養上のお世話  
身体の清潔ケア、食事、排泄などの介助

医師の指示による医療処置・  
医療機器の管理

小児への看護

生活の場での  
リハビリテーション

認知症・  
精神疾患のケア

がん末期や終末期を  
自宅で過ごせるような支援

家族等介護者の  
相談支援

医師や福祉のサービスと連携して、必要な支援にすぐにつなげることで、安心して過ごせる環境を整えます。また、早い段階から訪問看護が介入することで、病状の悪化を防ぎ自分らしい生活を続けやすくなります。



南庄内地域の訪問看護ステーション一覧

事業所名	電話番号
訪問看護ステーションきずな	25-8880
訪問看護ステーション庄内	33-8950
訪問看護ステーション ハローナース	25-3055
リハビリ訪問看護ステーションみどり	25-3050
訪問看護ステーション タカラ	29-2134
訪問看護ステーションとるて	64-8785
いのちの華 訪問看護ステーション	25-3203
訪問看護ステーションやまごや	29-2117
訪問看護ステーション奏	33-8571
合同会社在宅ケアサービスえーる	26-0845
訪問看護ステーションにこ	77-1025

協力：鶴岡市介護保険事業者連絡協議会 訪問看護部会

Q 訪問看護を受けられる対象は？

A 赤ちゃんからお年寄りまで訪問看護を必要とするすべての方が利用できます。利用にあたっては、介護保険や医療保険が適用されます。

Q 足に力が入りづらく歩くのに不安があります…。訪問看護を受けることはできますか？

A リハビリスタッフ、看護師による生活の場でのリハビリテーションを受けることが可能です。関節を動かす練習や日常生活に必要な動作の練習を行います。

Q 訪問看護を受けるにはどこに相談したらいい？

A かかりつけ医やケアマネジャー、訪問看護ステーションにご相談ください。



一般社団法人鶴岡地区医師会 地域医療連携室ほたる

〒997-0035 鶴岡市馬場町 1-34

TEL : 0235-29-3021 FAX : 0235-29-3022

ほたるホームページ <https://www.tsuruoka-hotaru.net/>

ホームページ

